フィールド調査の方法

平成 20 年 1 月７日修正

１．計測作業

記録係１名を決め，その他を計測係とする。

記録係：軍手，記録用紙，筆記具を携帯

計測係：軍手，メジャー，ペンキ，はけを携帯

（１）地図をもとに白いナンバープレートまたは白ペンキで番号が書かれた木を探す

※赤いナンバープレートは別の調査用なので間違えないこと

（２）幹の外周（cm）を胸の高さで計測する

計測係：「〇〇番，××センチ」 $\xrightarrow{\text{報告}}$ 記録係：「〇〇番，××センチ」と復唱し記録

$\xleftarrow{\text{復唱}}$

２．その他の作業

（１）ナンバープレートが脱落している場合

・もとの木がわかれば付け直す（スプリング）

・もとの木がわからない場合は回収し，その旨記録する

（２）ペンキで書かれた番号がはげている，あるいは読みにくい場合

・はけで塗りなおす（小さめに）

（３）木が倒れている場合

・記録してナンバープレート回収

３．注意事項

・危険な場所には近づかない

・笹などの植物でけがをしないように

４．終了時の作業

（１）教室に戻り，記録係が教員に作業終了を報告

（２）記録係は教員からデータ入力用のフロッピーディスクを受け取る

（３）各自，備品を返却（使用したはけは水洗いして返却）

５．レポートについて

（１）記録係のデータを班内で手分けしてエクセルファイルに入力

（２）ファイルをフロッピーディスクに保存　→　記録係が石谷先生に提出

（３）班内でデータを回覧する

（４）班員は各自，過去と今回のデータをもとに，データの推移をまとめ，考察を加えてレポートを作成　→　石谷先生に提出【提出期限：平成２０年２月６日（水）】

各班の受け持ち区域

次頁の地図を参照しながら読んで下さい。

【１，２班】

- １－２５４の尾根筋に沿って四つ辻の少し先までのコースは単純。
- １番の上り口は，図書館前の池の端付近。

【３，４班】

- ２５５－４７６の尾根筋コース。
- Ｇ２方面へのトンネルの上付近に３６４がある。
- ４班はこれとは別に左側斜面を降りる７００番台（２１本）がある。
- 丘の頂上付近にある４３１，４３３から左手へ７３５，７３６，７４２，７４４，７４７
- 丘の頂上付近から尾根筋に進んで４５５付近から左手へ７５７，７５５，７５８，７５１，７５４など

【５，６班】

- Ｇ４への通路（周回道路）と四つ辻を結ぶ線上のコースは２系列５５本からなる

スロープを昇る場合

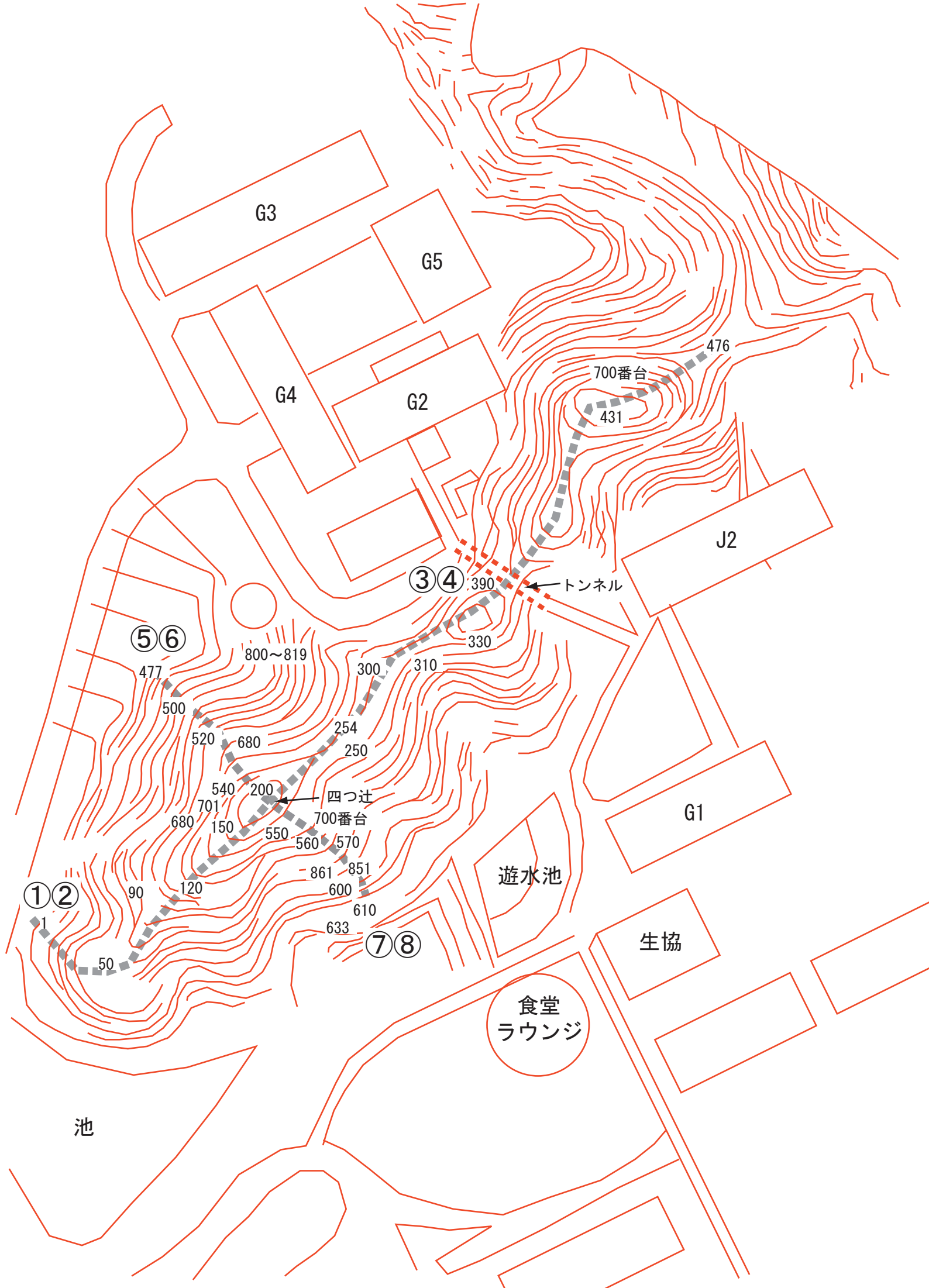
- ５班の４７７から斜面を登り５４０に至る３８本のコースは，視界は良いが切り株が多いので注意。
- ６班はそこからやや右手にコースをとって急勾配の細い道を通る途中に６８４－６９８までひとかたまりになっている。少し離れて７０１など，このグループ計１７本があり，尾根筋の１２８，１３０近くへ出る。

（スロープを降りる場合は，逆に尾根筋１２８，１３０の手前からやや左へ降り始める。）

- ６班はその他に１９９９年から新たに加えた８００－８１９がある。

【７，８班】

- 四つ辻から食堂側へ降りるコース
- ５４１－６３３までの５８本がある。
- ５４１のすぐ下側に７０８，７０９および７１４，７１５，７１６，７１７，７２１がある。
- ５６４の左手に７２６，７２７，７２８がある。
- ８班はその他に１９９９～２００１年に新たに加えた８５０－８８３がある。


G3
G5
G4
G2
J2
G1
476
700番台
431
③④
390
トンネル
330
310
300
⑤⑥
800～819
477
500
520
680
254
250
540
200
四つ辻
701
680
150
700番台
550
560
570
861
851
600
610
633
⑦⑧
①②
90
120
1
50
遊水池
生協
食堂
ラウンジ
池